

同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)／神学部・神学研究科 共催

第5回 ユダヤ学会議

「古代・中世初期のユダヤ教とキリスト教」

公開講演会

# Jews and Christians

## – Dialogue, Debate, Discord

ユダヤ教徒とキリスト教—対話・論争・不和

< 講師 >

オーラ・リモール教授 Prof. Ora Limor

(The Open University of Israel 歴史/哲学/ユダヤ学学部教授)

2011年10月29日(土) 13:00–15:00

同志社大学 今出川キャンパス

神学館 3F チャペル

- 英語講演・逐次通訳あり
- 入場無料・事前申込不要
- お問い合わせ 同志社大学一神教学際研究センター

TEL. 075-251-3972

E-mail: [info@cismor.jp](mailto:info@cismor.jp) HP: <http://www.cismor.jp/>



Doshisha University

同志社大学

一神教学際研究センター

C I S M O R

Center for Interdisciplinary Study of Monotheistic Religions

## 【 プログラム 】

- |              |             |          |
|--------------|-------------|----------|
| 1) 開会挨拶／講師紹介 | 13：00－13：05 | 村山 盛葦    |
| 2) 講 演       | 13：05－14：30 | オーラ・リモール |
| 3) 質疑応答      | 14：30－15：00 |          |

講師： オーラ・リモール (The Open University of Israel 歴史/哲学/ユダヤ学学部教授)

司会： 村山 盛葦 (同志社大学 神学部准教授／CISMOR 参加研究者)

---

## 【 講演概要 】

### ユダヤ教徒とキリスト教徒：対話、論争、不和

オーラ・リモール

キリスト教とユダヤ教の間の論争は、その最初期から、家族的な類似と共に、その激しい競争によって特徴づけられる。二つの宗教は、それぞれにとって聖典である聖書という類似した、その「言語」を使用した。ユダヤ教が自身をイスラエル、選びの民と定義したのに対し、キリスト教は自身を「霊的イスラエル」、イエスのメシア性を認めることをユダヤ人が否定したのち神の選びが移ったところの「本当のイスラエル」と定義した。世界におけるキリスト教の普及とユダヤ人の離散は、キリスト教徒の目には、彼らの正しさの決定的な証拠のように映った。実際、教会はユダヤ人が強制的に宗教を変えさせられることに反対したが、ユダヤ人を説得する努力は、その最初期から日常的に行われた。これらの努力は、広範囲に及ぶ論争の文学（両陣営において書かれた）と、ユダヤ教の間違いを証明するためキリスト教側によって組織された公開の議論において、現れた。

はじめの千年は比較的寛容だった姿勢は、12 世紀においてキリスト教社会が、少数派や、多数派とは異なる考えを保持する者たち、またユダヤ人たちに対して寛容さを欠いて振る舞う、「追及する社会」になった時に終わりを迎えた。徐々にユダヤ人に対して邪悪なイメージが形成されていき、このイメージはポグロムや差別的な立法行為を引き起こした。ユダヤ人の状況の悪化は、多くの場合追放によって終わった。15 世紀末には、多くのヨーロッパの国々からユダヤ人は一掃されていた。

近代において寛容の声は大きくなり、変化への希望が 20 世紀に訪れた。1965 年にはカトリック教会が、メシア殺害の罪をユダヤ人全体に帰することから距離をとるとの宣言を行った。しかし、ユダヤ・キリスト教論争が過去の遺産であるのか — これは未来のみが答えを知るであろう問いである。

## 【 講師紹介 】

### ■ オーラ・リモール Ora Limor

The Open University of Israel 歴史/哲学/ユダヤ学学部教授

1979年 エルサレム・ヘブライ大学にて修士号取得（歴史学）

1985年 同校にて博士号取得

（論文： The Disputation of Majorca 1286: A Critical Edition and Introduction）

1991 - 1996年 The Open University of Israel 講師

1996 - 2003年 同 准教授

2003 - 2011年 同 教授

2011年6月～現在 同 名誉教授

1997-1999年には歴史/哲学/ユダヤ学学部長を、2005-2009年には副学長（学術分野担当）を務めた。

また、ベルリン高等研究機所、フィラデルフィア高等ユダヤ学研究所、エルサレム・ヘブライ大学高等研究所、フィラデルフィア高等ユダヤ学研究所、ケンブリッジ・Clare Hall 等で特別研究員を歴任。

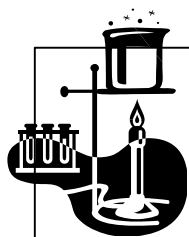
研究分野：

1. 中世におけるユダヤキリスト教論争と異文化交流
2. 聖地についての聖なる伝承
3. キリスト教、ユダヤ教、イスラーム文化における巡礼物語

中世のキリスト教、そのユダヤ人・ユダヤ教との関係についての著書多数。多くの学術誌の編集委員を務める他、歴史学教授として、中世キリスト教についての大学生向け教科書を多数刊行。

主な著書は以下のとおり（含近刊）；

- Sepher Ha-Nizzahon by Yom-Tov Lipmann Mühlhausen: A Critical Edition, with Israel I. Yuval (forthcoming, 2011).
- Holy Land Travels: Christian Pilgrims in the Early Middle Ages (Hebrew translations from the Latin, introductions and notes), Yad Ben-Zvi, Jerusalem, (forthcoming 2011).
- Holy Land Travels: Christian Pilgrims in Late Antiquity (Hebrew translations from the Latin, introductions and notes), Yad Ben-Zvi, Jerusalem 1998.
- Die Disputationen zu Ceuta (1179) und Mallorca (1286): Zwei antijudische Schriften aus dem mittelalterlichen Genua, Monumenta Germaniae Historica, Quellen zur Geistesgeschichte des Mittelalters 15, München 1994.
- The Disputation of Majorca 1286: A Critical Edition and Introduction (2 vols., Latin text and Hebrew Introduction). Publications of the School of Graduate Studies, The Hebrew University, Jerusalem 1985.
- Ora Limor and Guy G. Stroumsa (eds.), Contra Iudaeos: Ancient and Medieval Polemics Between Christians and Jews, Mohr (Siebeck), Tübingen 1996.



<次回講演会のお知らせ>

## ISLAM AND SCIENCE

イスラームと科学 ～もう一つの視点からイスラームを考える～

2011年11月26日(土) 13:00-15:20

同志社大学新町キャンパス 尋真館4階 Z40 教室

【講師】 Prof. Mojtaba Zarvani (イラン・テヘラン大学教授)  
Prof. Salah Osman (エジプト・アル=モノフィア大学教授)

【パネリスト】 小杉 泰 (京都大学アジア・アフリカ地域研究科教授)

英語講演・逐次通訳あり／入場無料・事前申込不要